

麻酔科ローテーション研修目標

患者の手術治療に際し、患者の病態・疾患に応じて安全で適切な麻酔法を選択し実施する能力を身につける

経験すべき診察法・検査・麻酔技術

1．適切な麻酔を行えるよう患者の術前評価ができるために

現症の把握ができる

現病歴、既往歴、家族歴の確認・把握ができる

術前検査の把握ができる

術前使用薬の麻酔への影響を理解し対策をたてられる

患者および家族が十分に理解できるように説明できる

前投薬と術前処置を述べ指示に参加できる

麻酔法の選択をおこなえる

術前合併症を理解し対策を事前にたてられる

1．麻酔器および麻酔器具を用いて麻酔をスムーズに実施するために

麻酔器の構造を説明できる

麻酔器具の構造を説明できる

始業点検を述べ実施できる

麻酔器・麻酔器具の準備と点検ができる

2．モニタリングシステムにより麻酔下の患者の状態を把握し、安全に麻酔を実施することができるために

非観血的血圧測定、EKG、体温、尿量の観察ができる

パルスオキシメーター、呼気終末 CO₂ 濃度、麻酔薬濃度の観察ができる

観血的動脈圧測定ができる

CVP の測定ができる

筋弛緩モニターができる

3．全身麻酔の実施と術中の管理を安全におこなうことができるために

静脈麻酔薬の薬理を記述することができる

吸入麻酔薬の薬理を記述することができる

筋弛緩薬の薬理を記述することができる

マスクによる気道確保を実施できる

マスク、バッグによる人工換気を実施できる

気管挿管を実施できる

術中の呼吸と循環の管理を実施できる

術中輸液管理を実施できる、

術中合併症の理解と対策を実施できる

4．局所麻酔の実施と術中の管理を的確で安全におこなうことができるために

局所麻酔薬の薬理を記述することができる

脊椎麻酔の適応を述べ実施に参加することができる

硬膜外麻酔を述べ実施に参加することができる

局麻薬の中毒症を記述することができる

術中合併症を理解し対策をたてることができる

5．外科患者の術後における管理を的確で安全におこなうことができるように

術後合併症の理解と対策

術後疼痛管理

6．緊急手術に際して麻酔が的確で安全におこなえることができるように

術前状態の把握ができる

緊急検査と準備を指示できる

麻酔法の選択ができる

術中の管理を行うことができる